

平成27年度 事業報告書

自 平成27年 4月 1日
至 平成28年 3月31日

社会福祉法人 大阪市西区社会福祉協議会

1. 会 議

第1回 理事会 平成27年5月27日

第1号議案 平成26・27年度西区社会福祉協議会評議員の選任（補充）について

第2号議案 平成26年度西区社会福祉協議会事業報告（案）について

第3号議案 平成26年度西区社会福祉協議会決算報告（案）について

第1回 評議員会 平成27年5月27日

第1号議案 平成26・27年度西区社会福祉協議会評議員の選任（補充）について

第2号議案 平成26年度西区社会福祉協議会事業報告（案）について

第3号議案 平成26年度西区社会福祉協議会決算報告（案）について

第1回 広報部会 平成27年5月27日

第1号議案 西区社会福祉協議会機関紙「ふれあい西区」第54号発行について

第1回 善意銀行運営委員会 平成27年8月6日

第1号議案 各地域への助成金交付について（案）

第1回 総務部会・老人福祉部会 平成27年8月6日

第1号議案 平成27年度高齢者福祉月間事業（案）について

第2回 広報部会 平成27年9月15日

第1号議案 西区社会福祉協議会広報誌「ふれあい西区」第55号発行について

第2回 理事会 平成27年11月26日

第1号議案 平成26・27年度西区社会福祉協議会評議員の選任（補充）について

第2号議案 歳末たすけあい運動の実施について（案）

第2回 総務部会 平成27年11月26日

第1号議案 歳末たすけあい運動の実施について（案）

第2回 善意銀行運営委員会 平成27年11月26日

第1号議案 歳末たすけあい運動にかかる助成金について（案）

役員研修連絡会 平成27年11月26日

第3回 広報部会 平成27年12月22日

第1号議案 西区社会福祉協議会広報誌「ふれあい西区」第56号発行について

第3回 理事会 平成28年2月26日
第1号議案 西区社会福祉協議会役員改選に伴う役員選考委員の選任について

役員選考委員会 平成28年3月18日
第1号議案 役員を選考について

第4回 理事会 平成28年3月29日
第1号議案 平成26・27年度西区社会福祉協議会評議員の選任（補充）について
第2号議案 平成28・29年度理事・監事の推薦並びに評議員選出母体の承認について
第3号議案 平成28年度事業計画（案）及び予算（案）について
第4号議案 定款の変更について
第5号議案 諸規則等の一部改正及び特定個人情報取扱規程の制定（案）について

第2回 評議員会 平成28年3月29日
第1号議案 平成26・27年度西区社会福祉協議会評議員の選任（補充）について
第2号議案 平成28・29年度理事・監事の選任並びに評議員選出母体の承認について
第3号議案 平成28年度事業計画（案）及び予算（案）について
第4号議案 定款の変更について
第5号議案 諸規則等の一部改正及び特定個人情報取扱規程の制定（案）について

2 事業

平成27年

- 6月18日 障がい者スポーツレクリエーション広場（参加者126名）
- 6月30日 子育て交流会「手をつなごう」 《西区民センター》
（参加者・スタッフ・ボランティア 739名）
- 6月15日 広報紙「ふれあい西区」第54号発行
- 9月19日 金婚夫婦お祝い会（該当者38組）
- 10月15日 広報紙「ふれあい西区」第55号発行
- 12月9日 西区あんしん見守りシンポジウム～ともに支え合う地域をめざして～
第1部：基調講演
自分らしく健康で安心して暮らし続けることができる仕組みづくりを目指して
講師：甲南大学 人間科学部 総合子ども学科
准教授 鈴木大介氏
第2部：パネルディスカッション
コーディネーター 甲南大学 人間科学部 総合子ども学科
准教授 鈴木大介氏
パネラー 江戸堀地域見守りコーディネーター 坂本啓子 氏
高台地域見守りコーディネーター 池田 操 氏
九条南地域社会福祉協議会 会長 村井義和 氏
見守りネットワークカー 上舎 香 氏
《西区民センター》（参加者171名）
- 12月19日 いっしょにやりましょ！そよかぜまつり
《西区民センター》（参加者・スタッフ・ボランティア 約1100名）
- 12月25日 大阪市児童院へ慰問及びクリスマスケーキとメリークリスマスお楽しみ袋を
プレゼント（クリスマスケーキ6個、お楽しみ袋45個）

平成28年

- 1月15日 広報紙「ふれあい西区」56号発行
- 1月21日 社会福祉講演会
成年後見制度・終活の豆知識
講師：公益社団法人青年後見センター・リーガルサポート
会員・司法書士 堀 勝彦 氏
《西区民センター》（参加者158名）
- 1月30日 バリアフリー映画上映会 オハイエ！2
《西区在宅サービスセンター》（参加者53名）
- 2月23日 西区社会福祉講演会
障がいあれこれ～聞いて聞いて私たちの声パート11～
障がい者・児と地域・家庭の防災を考える
講師：NPO法人ぴーす 理事長 小田 多佳子 氏
《西区民センター》（参加者112名）
- 3月31日 『赤ちゃんお役立ちマップ』西区版の発行とステッカー掲示
冊子4000冊発行、ステッカー掲示施設28箇所
西区ふれあいマップの作成（改訂版）
高齢者編 1500部・障がい者編 500部
ボランティアガイドブック（改訂版）の発行 2500冊

3. 善意銀行

自 平成27年 4月 1日

至 平成28年 3月 31日

1. 現金奉仕口座			(単位：円)		
年月日	現金預託者	金額	年月日	現金預託払出先・内容	金額
6月22日	株式会社 丸高製作所社員一同	96,000	4月15日	残高証明書手数料（普通）	432
8月1日	隠岐 忠	1,000	4月27日	残高証明書手数料（普通）	432
7月10日	西野實、西野美智子	10,000	7月10日	切手（@82×1枚）	82
8月15日	銀行利息（普通預金）	82	9月9日	後納郵便（@67×14通）	938
8月17日	銀行利息（普通預金）	7	10月15日	災害物品（指定預託）	31,158
9月5日	銀行利息（定期預金）	1,095		（赤十字援助物品不足分）	
11月20日	大西公子	5,000	10月2日	高台社協助成金	80,000
12月10日	西区老人クラブ連合会	10,000	10月26日	九条北社協助成金	80,000
12月21日	株式会社 丸高製作所社員一同	96,000	11月6日	広教社協助成金	80,000
1月27日	小倉淳子	83,090	11月11日	九条南社協助成金	80,000
2月9日	大阪ガス大阪地区小さな灯運動	200,000	11月24日	江戸堀・堀江社協助成金	160,000
2月13日	銀行利息（普通預金）	186	11月25日	千代崎・西船場	160,000
2月22日	銀行利息（普通預金）	7	12月9日	民生委員児童委員協議会	700,000
3月11日	社団法人大阪青年会議所	28,940	12月10日	明治社協助成金	80,000
			12月16日	本田社協助成金	79,414
			12月18日	いっしょにやりましょ！そよかぜまつり実行委員会	53,265
			1月20日	感謝状2通	10,368
			1月21日	靱社協助成金	80,000
			1月26日	日吉社協助成金	80,000
			1月29日	大阪市立児童院	83,090
			2月25日	感謝状1通	648
			2月26日	西六社協助成金	63,361
			3月23日	九条東社協助成金	80,000
	預託合計	531,407		払出合計	1,983,188

2. 物品奉仕預託口座

年月日	物品預託者・法人・団体名	物品預託名	数量
7月16日	山本信吉	おもちゃ	874個
9月25日	板井龍市	商品券	3000円分
9月28日	河南寿美子	手編みセーター、ベスト	
10月2日	西区役所	レインボーカード	500円分×12枚
10月22日	地域活動支援センター らんまん西ひかり	石臼・ガス窯・ガスバーナー・蒸し窯・せいろ等	
1月22日	濱田一子	手編みマフラー14枚、帽子5枚、タオルハンカチ7枚	
年月日	物品払出先	物品名	数量
8月10日	西区障がい者・児ネットワーク「そよかぜ」	おもちゃ	874個
7月22日	いっしょにやりましょ！そよかぜまつり実行委員会	商品券	3000円分
10月6日	いっしょにやりましょ！そよかぜまつり実行委員会	レインボーカード	500円分×12枚
10月7日	大阪市立児童院	手編みセーター、ベスト	
11月19日	九条南子ども会	石臼・ガス窯・ガスバーナー・蒸し窯・せいろ等	
1月22日	西区在宅デイサービスセンター	手編みマフラー14枚、帽子5枚、タオルハンカチ7枚	

4. 区地域福祉活動交付金事業

事業内容	事業内容（具体的に）	実施場所	実施時期	回数
(1) 地域福祉活動に対する助言・指導等事業				
ア 地域福祉活動の状況把握と助言・情報提供	各地域会館へ出向き、地域活動者や活動現場から福祉活動実施状況の確認を行ない、必要な情報の提供及び活動者同士の調整等を行った。	広教会館、堀江会館、堀江小学校、九条東会館など	3～4月	347回
	地域社会福祉協議会役員から新たな取り組みについて相談を受けたので、先駆的な情報提供や新たな手法について検討を行った。	日吉会館、明治会館、江戸堀会館、地域の寺など	3～4月	
イ 地域福祉活動にかかわる地域における各種団体の役員・活動者等を対象とした会議・研修の開催及び参画	地域役員等の会議へ出向き、地域の課題を把握し地域の活動者とともに解決策等を検討した。	西船場会館、江戸堀連合会館、西六福社会館、九条東会館、九条北会館、区社協等	3～4月	151回
	地域ネットワーク委員会へ参加し、地域の見守り等活動者状況を把握し、必要な情報提供や見守り活動事業や要援護者の見守りネットワーク強化事業との調整、指導、助言を行った。	明治会館、堀江会館、九条南会館など	3～4月	
ウ 地域福祉推進のための計画・ビジョン・アクションプラン等の策定・推進への参画	各作業部会（高齢者、子ども、障がい者）の取り組みや行事の計画や実施に向けての会議へ参画し、先駆的な情報提供や新たな手法について検討を行った。	日吉会館、子ども・子育てプラザ、区社協等	3～4月	88回
	アクションプランの取り組みとしてをつなごうやそよかぜまつり、立ち寄り処等の会議に参画し情報提供や新たな手法を提供するとともに事業展開を図りアクションプランの推進を行った。	ノダショールーム、商店街空き店舗、区内の寺院、西区役所、西区民センター、区社協等	3～4月	

エ 地域支援システム等の検討・推進への参画	地域福祉支援システムにおける高齢者支援専門部会の開催において区役所や関係機関と調整し課題抽出から解決策や手法について検討を行なった。	区役所、区社協	3～4月	22回
	個別課題等各種会議、自立支援協議会、要保護児童対策地域協議会などへの参画	区役所、区社協	3～4月	
オ 広報啓発	区社会福祉協議会広報紙ふれあい西区、パンフレット等を発行し、区内企業や施設等へ設置場所の協力を依頼し、区民に広く情報提供等を行った。	区社協	3～4月	43回
	ふれあいマップ(高齢者編、障がい者編)、赤ちゃんお役立ちマップ等を発行し、区内企業や施設等へ設置場所の協力を依頼し、区民に区内の施設情報等を広く周知した。	区社協、子ども子育てプラザ、老人福祉センター	3～4月	
(2) ボランティア活動等の支援事業				
ア ボランティア活動の登録・需給調整	ボランティア需給調整、新規活動者の登録、ボランティア活動の需給調整等を行った。	区社協	4～3月	随時
イ ボランティアに関する相談・問い合わせ等への対応	グループ活動希望者の相談・問い合わせに対する助言・指導、個別活動に関する相談・問い合わせに対する助言・指導などを行った。	区社協	4～3月	随時
ウ ボランティアグループの支援	ボランティアグループへの会場貸与や活動についての助言指導や現場で活動状況把握を把握しスキルアップに関する指導や研修等を行った。	活動場所や区社協等	4～3月	322回
エ ボランティアの養成	ボランティア初級講座、精神障がい者に関する理解を深めるための精神保健福祉ボランティア講座、子育て支援に関する講座を開催し、ボランティアのスキルアップまた、人材発掘を行った。	区役所、区社協	3～4月	49回

オ 福祉教育の推進	学生や企業などを対象に福祉教育を行い、高齢者や障がい者への理解を深め、実際のボランティア活動につなげた。	大阪歯科学院専門学校、ブリジストン、イオン等	3～4月	49回
	小学生を対象に福祉教育を行い、高齢者や障がい者への理解を深め、実際のボランティア活動につなげた。	堀江小学校、本田小学校、九条東小学校、九条北小学校等	3～4月	
(3) 地域福祉推進のための連絡調整事業				
ア 地域福祉課題の整理及び関係機関との連絡調整、課題解決方策の検討・協議	区役所、ライフライン事業者、事業者等との連絡調整を行い、課題解決に向け検討し、調整を行った。	区社協、各ライフライン事業所等	3～4月	312回
	NPO 法人や企業をつなげ、各種関係機関との連絡調整を行い、課題解決に向けた検討会や協議を行った。	区社協、施設、事業所等	3～4月	
イ 施設連絡会・部会等の準備・開催	社会福祉施設連絡会を開催し、各施設における情報共有や課題を抽出し解決策について検討した。	区役所・区社協、各施設など	3～4月	18回
	高齢者、こども、障がい者関係団体や関係者、当事者等の部会を開催し情報共有や課題を抽出し解決策について検討した。	区社協	3～4月	
(4) 「区災害ボランティア活動支援センター」の設置及び総合調整等				
災害時におけるボランティア活動支援センター設置の準備。区役所や地域の防災への取り組みへ出向きとの災害時における体制づくりの調整等。		区役所、区社協、明治小学校、日吉小学校等	4～3月	随時

5. ボランティアビューロー事業報告

1. 重点的に取り組んだ課題

取り組んだ課題	内容	成果・今後の方向性
1) 福祉教育（擬似体験）を学校・専門学校・地域・企業・各団体に積極的に広報した。	1) 擬似体験を通して身近で出来る支援を学ぶ。学校での体験授業では校区の企業、役員介護事業所にも参加してもらう。	1) 高齢者施設での体験ボランティア活動につながると共に地域役員、PTA、V、NPOなど各団体とも繋がる。福祉教育を通して安心安全な街づくり西区が掲げるアクションプランに繋がる事業となっている。
2) 企業Vの発掘	2) 企業へ向けV活動紹介、福祉体験による企業研修。	2) 継続した活動と新たな活動に加え福祉擬似体験等を社員研修で実施できた。
3) 団塊・シニア世代	3) 段階・シニア世代の方を対象とした各口座の開催	3) 受講生同士の繋がりやVGの継続に繋がる今後の活動と自主企画を計画し実行し介護予防にも繋がっている。
4) 精神保健福祉	4) 心の辛さを持つ方への理解を今後のボランティア活動に繋げていただくため、講座を開催。	4) ひきこもり当事者の話など、近年関心の高い内容を伝えることで、新たなボランティア活動の周知や精神保健についての理解を深める事ができた。
5) 子育て世代	5) 子育て交流会「てをつなごう！」の開催。情報紙てをつなごうの発行。	5) 子育て交流会「てをつなごう！」の開催により、地域住民やボランティアと子育て世代の交流できる場を作る。また、情報紙てをつなごうの発行に向けた編集会議を子育て中の母親に参加してもらい、当事者の声を反映させた内容となっている。
6) ボランティアガイドブック・ビューロー通信	6) V情報と報告などを掲載した通信・保存版Vガイドブック、スーパーや各関係機関に設置する。	6) 区民に広く周知ができたのと通信作業から他のV活動に繋がるVの発掘へと発展した。また、保存版Vガイドブックを活用し、福祉教育やV活動を分かりやすく広報していく。
7) 西区社協情報の広報活動	7) スーパーマーケット、金融機関等への設置協力。	7) 区民に広く広報することができた。企業やスーパーに於いても広報活動で地域貢献活動にも繋がった。
8) V、NPO等の交流会	8) 各V、NPOの活動紹介と発表を実施する。	8) V同士、NPOとの交流が更に深まる。今後の活動に繋がりたい

9) V助成金の各種書類パソコン化	9) 助成金のパソコン入力作業 メールで確認など	9) 助成金申請、報告をパソコン入力することで、事務手続がスムーズになることと、V同士でパソコンの勉強会を実施する。
10) 災害関係 ・ 擬似体験をしながら避難訓練を実施 ・ ぼう祭まつり参加	10) ・ 大阪府西大阪治水事務所、西消防署、学校、地域が共催して津波高潮センターにてぼう祭イベントを行った。	10) ・ 防災における障がい者理解 ・ 妊婦・高齢者・視覚障害の擬似体験をしてもらったことで、避難時の助け合いの必要性をより一層感じてもらえた。
11) イオン幸せの黄色いレシートキャンペーン	11) 応募した団体に、買い物客が応援したい団体BOXにレシートを投函することで、レシート合計額の1%が団体に還元される。	11) イオンの社会貢献の一環であるキャンペーンに10 団体が応募社協に一任と任されたことにより、イオンと良好な関係づくりが構築され、今後店舗を借りて社協の広報ができる。

2. 運営・基盤事業

	事業名称	備考(内容等)
1	ボランティアグループ代表者連絡会	助成金、活動計画等の説明と連絡(年1回)
2	ボランティアグループ講座開催連絡会	V事業、スキルアップ講座について(随時)
3	西区登録ボランティア・NPO交流会	V・施設・NPOとの交流でV活動の活性化を図る
4	ボランティアビューロー運営委員会	西区v活動助成金の申請審査など

3. 啓発・広報事業

	事業名称	備考(内容・啓発先等)
1	広報紙「ふれあい西区」	年3回新聞折り込み配布、公共施設、企業関係、
2	西区ボランティア通信	2回発行、区内施設、スーパー6店舗、郵便局、地域会館
3	西区社会福祉協議会ホームページ	随時更新(Vガイドブック、講座の周知等)
4	ボランティアガイドブック保存版	VGの紹介、各V養成講座、福祉教育、防災に関する冊子、福祉教育で活用
5	西区オリジナル、ボランティアのぼり	西区内イベントで広報・啓発で使用
6	各ボランティア養成講座の取り組み	チラシをスーパー、公共施設、地域会館に設置

4. ボランティア養成事業

	事業名称	備考(内容・延べ参加人数等)
1	イオン新入職員 車いす研修(4月)	イオンに今年度入社した職員と希望職員に対し、スーパー内外で車いすを使った使用方法の確認と体験を通して、実際に店内での不自由さや改善点、既存の店舗の工夫している点に気づき、学ぶ。 1回12名
2	初級ボランティア講座	ボランティアについての基礎知識をはじめ、傾聴についての理解を

	(7月)	深め、車いす操作の習得、図書ボランティア活動や手話の体験、認知症サポーター養成講座にて認知症についての理解を深め、今後の活動につなげる。 6回述べ68名
3	精神保健福祉ボランティア養成講座 (9・10月)	医師より統合失調症の話や、当事者の声をきく講座を設けた。引きこもりについては、特に受講者の質問内容などから世間の理解の難しさを感じた時間となった。当事者が人前で話をするための促しも必要なようだった。 3回述べ51人
4	子育て支援ボランティア養成講座 (9・10月)	講座の中で実際に活動している現場を体験し、楽しみながらボランティア活動ができることを学び、また障がいをもつ子どもの親御さんから直接話をきくことで、活動以外の日常の関わりについても考える機会となった。子連れでも参加できる環境を整えた為か、参加者の意欲も高く、最終的に7名がファミサポの補講講座を受ける意思を示しておられた。 8回のべ71名

5. 福祉教育について（他部門が実施している福祉教育も記載）

	実施場所	対象者	参加者数	実施内容・使用教材
1	4/22 ブリヂストン化工品	ブリヂストン社員	5名	認知症サポーター養成講座・点字体験
2	4/24 イオン大阪ドムシティ	イオン新入社員	12名	車いす研修
3	5/15 西区在宅サービスセンター	立正佼成会福祉部	13名	車いす研修
4	5/26 大阪歯科学院専門学校	2年生	45名	車いす、視覚、高齢者擬似体験
5	7/10 九条北小学校	5年生	40名	バリアフリーについて
6	7/22 九条北小学校	大阪トヨペット新入社員	11名	妊婦体験・新生児人形見守り保育のボランティア体験
7	7/24 子ども子育てプラザ	大阪トヨペット新入社員	10名	妊婦体験・新生児人形見守り保育のボランティア体験
8	11/4 九条東小学校	4年生児童	26名	車いす・点字・手話・視覚体験
9	11/13 ブリヂストン化工品会議室	ブリヂストン職員	5名	車いす体験
10	2/10 堀江小学校	5年生	126名	障がい児の親からの話、共同募金会について、手話体験、点字体験
11	2/12 堀江小学校	5年生	126名	バリアフリーについて
12	2/24 本田小学校	3年生	100名	車いす・点字・手話・視覚体験

6. 災害に関する取り組み（ボランティアバスの運行・復興支援イベント・防災啓発講座・災害Vリーダー養成等）

	事業名称	内容	対象者	備考 (協働・共催した主な団体名)
1	明治地域 防災訓練	明治小学校にて東日本大震災の被災者からの講演、備蓄の展示やタンカ・車いす等の体験、AEDの使用方法	地域住民	西区役所・西消防署・明治小学校・明治連合町会
2	西区ぼう祭	津波・高潮センターにて子供向けに防災について学習	地域住民	津波・高潮センター、西警察、西消防署、竹とんぼ、たんぼぼ、四葉のクローバー、ぶっくらぶ、あっ！そうか

7. 協働・共催事業について

	事業名称	備考（協働・共催した主な団体名）
1	認知症サポーター養成講座	地域支援生活ワーカー、包括支援センター、介護事業所
2	ぼう祭	津波・高潮センター・西消防署・地域団体、VG竹とんぼ、たんぼぼ、ぶっくらぶ、あっ！そうか、四葉のクローバー
3	日吉地域 防災訓練	西区役所・西消防署・日吉小学校・日吉連合町会

8. NPO や市民活動団体からの相談件数

相談件数	(9) 件 述べ
把握している団体数	(8) 団体

特記事項	<ul style="list-style-type: none"> ・ 社団法人アジア協会 回収依頼物品の確認 ・ 堀江中学校元気アップ事業 ボランティア活動保険と実施内容についての相談 ・ (株)ダイエー 黄色いレシートキャンペーン登録団体の相談 ・ 社団法人西区青少年地域福祉協議会 黄色いレシートキャンペーン登録団体の相談 ・ イオンリテール(株) 社会貢献事業での植物栽培・動物関係指導者についての相談 ・ イメリススペシヤリティーズジャパン株式会社 社会貢献事業の提案依頼 ・ 江之子島文化芸術創造センター 事業運営時の見守り保育について ・ 西道頓堀コーポ 防災班 防災訓練時の障がい者支援についての相談
------	---

9. ボランティア需給調整事業

(1) 個人登録

H27年4月1日現在	新規登録	登録解消	H27年度登録総数
54人	5人	0人	59人

(2) グループ登録・一覧

H27年4月1日現在	新規登録	登録解消	H27年度登録総数
39グループ	0	0	39グループ
319人	2人	12人	309人

(3) 援助依頼・需給調整

<個別>	・高齢者	(1件)
	・障がい者・児	(3件)
	・子ども	(3件)
	・その他	(3件)
<団体>	・施設、団体から（定期活動以外の依頼）	(34件)
	・市ボランティア情報センター、他区ボランティアビューローから	(1件)
ボランティア派遣件数（上記以外の自主活動含む）		1,391件
延べ活動人数（V会議・連絡会・練習等含む）		6,729人

※その他

- ・イベント参加、イベントのための会議、練習、備品の購入、準備。
- ・各ボランティアグループの定例会、ビューローとの打ち合わせ、学習会、通信発送 等高齢者、子ども、障がい者で特定できないものは全て※その他で報告しています。

高齢者	369件	901人
障がい者・児	120件	619人
こども	384件	1,487人
※その他	462件	2,519人
合計	1,335件	5,526人

登録等ボランティアグループ一覧

	活動種別	グループ名	会員数	設立年月日	定例会開催日	主な活動日
1	図書	竹とんぼ	19	平成 3 年 4 月	第 1.3.4 火曜	毎週月曜他随時
2		たんぽぽ	10	平成 15 年 12 月	毎月 1 回	随時
3		まじょ魔女	5	平成 12 年 10 月	毎月 1 回	随時
4		「チーム」OTO	9	平成 19 年 1 月	2ヶ月 1 回	随時
5		ぶっくらぶ	6	平成 25 年 4 月	毎月 1 回	随時

6	音楽	歌体操 ひばり	11	平成12年 4月	第4火曜日	随時
7		「大正琴」ペパーミント	8	平成19年10月	4ヶ月1回	随時
8		パープルほりえマザーズ	5	平成23年12月	毎月1回	随時
9		尺八の広場	5	平成21年 5月	随時	随時
10		グループ 心 音	6	平成21年 5月	毎月1回	随時
11		民謡 たけのこ	5	平成25年 9月	毎月1回	随時
12		「ゴスペル」フェアリーズ	11	平成24年 4月	毎月1回	随時
13		あふろでいて	5	平成21年 5月	随時	随時
14		らぶばーど	6	平成20年 4月	随時	随時
15		ポプリ	2	平成26年10月	随時	随時
16	子ども	ボランティアグループ コーンスープ	12	平成15年 4月	2ヶ月1回	毎月第4土曜 他 随時
17		「道親仲間」ほっ♪とものす	8	平成18年10月	毎月1回	随時
18		「子育て応援」オ・ハ・ナ	22	平成19年10月	3ヶ月1回	随時
19		「子育て広場」赤ちゃんネット	5	平成19年 5月	毎月1回	第4木曜日
20		「ママフラグループ」メレピピ	10	平成20年 6月	毎月1回	毎週金曜日 他 随時
21		子育て支援 すずらんの会	5	平成24年 4月	毎月1回	第3火曜日
22	高齢	グループすみれ	9	平成 3年 7月	4月・10月	毎週水曜・木曜他 随時
23		コスモス	15	平成 3年 4月	第4土曜日	第3木曜他随時
24	団塊 シニア	ひまわり	9	平成 3年 4月	4月・10月 第4土曜日	第4土曜他随時
25		エコちゃんくらぶ	5	平成21年 5月	毎月1回	随時
26		「団塊・シニア」 パワーアップ☆ニシラブ	20	平成24年12月	毎月1回	随時
27		大阪西区100才倶楽部	10	平成26年 4月	毎月1回	第4月曜
28	障がい 児・者	西区手話サークル ながほり	19	昭和61年 3月	2ヶ月1回	毎週水曜他随時
29		手話サークル 花 実	6	平成17年 1月	毎月1回	毎週金・土午前
30		ろくてんくらぶ	12	平成 4年 5月	2ヶ月1回	毎週水曜他随時
31		デージー図書 ふじつぼ	5	平成20年12月	毎月1回	随時
32		「精神保健福祉」花ふうせん	14	平成19年 4月	第3木曜日	第2火曜・第3木曜
33	パフォー マンス	「バルーンアート」あっ！そうか	6	平成20年 6月	毎月1回	随時
34		オープンセサミ	6	登録年月日 平成24年2月	毎月2回	随時
35		折り紙 四葉のクローバー	5	平成23年 7月	毎月1回	随時
36		フラサークル プルメリア	15	平成23年 8月	毎月1回	随時
37		やさしいフラ♡クプナ	5	平成24年 3月	毎月1回	随時
38		「新舞踊」千鶴会	6	平成23年 8月	毎月1回	随時
39		くらうんosaka	11	平成26年 6月	毎月1回	随時
ボランティアグループ活動者数 合計			343			
個人ボランティアグループ活動者数 合計			66			

6. 地域福祉アクションプラン

(推進委員会やイベントなど)

- 6月30日 てをつなごう（子育て交流会）
西区民センター 参加者 739 名
打ち合わせ会 計 4 回 延べ 124 名
- 12月9日 いっしょにやりましょ！そよかぜまつり（福祉まつり）※3 部会合同
西区民センター 参加者 約 1100 名
打ち合わせ会 計 8 回 延べ 112 名
- 1月21日 社会福祉講演会
成年後見制度・終活の豆知識
西区民センター 参加者 158 名
- 1月30日 バリアフリー映画上映会
ドキュメンタリー映画 オハイエ！2
西区在宅サービスセンター第1会議室 参加者 53 名
- 2月23日 障がいあれこれ～聞いて聞いて私たちの声パート11
障がい者・児と地域・家庭の防災を考える
西区民センター 参加者 142 名
- 3月31日 西区ふれあいマップの作成（改訂版）
高齢者編 1500 部・障がい者編 500 部

(作業部会)

高齢者部会

- 高齢者部会会議（不定期開催） 5 回 延 86 名
立寄り処（千代崎商店街） 10 回 延 119 名
（ノダショールーム） 10 回 延 185 名
（キララ商店街） 2 回 延 23 名
（ひまわりてらカフェ） 6 回 延 87 名

こども部会

- 子育て支援連絡会・こども部会会議（不定期開催） 5 回 延 167 名
子育て情報紙編集委員会 7 回 48 名

障がい者部会

- 障がい者部会会議（毎月開催） 12 回 延 144 名
障がい者スポーツレクリエーション広場 1 回 126 名
地域への参加 8 回（地域盆踊り出店・体育のつどい参加・区民まつり出店・
西区役所1階ギャラリーで作品展示など）
福祉教育への協力 随時（小学校・中学校・企業）

7. 介護予防事業

介護予防事業とは65歳以上の方で生活機能の低下によって要支援、要介護になる恐れが高いと認められた方を対象に、年齢を重ねても自分らしく、いきいきと生きがいをもって暮らすための取り組みです。

*通所型介護予防教室は、

- ①介護予防教室（複合型）、西区では「はつらつと 元気教室として実施」
- ②とじこもり等予防教室（*なにわ元気塾）、西区では「いきいき教室として実施」

1. 複合型プログラム

実施日	回数	実施曜日	実人数	延人数
①平成27年 4月30～7月30日	20	木曜日・午前	5名	94名
②平成27年 5月18～8月24日	20	月曜日・午前	5名	89名
③平成27年 6月12～9月18日	20	金曜日・午前	5名	79名
④平成27年 8月6日～11月12日	20	木曜日・午前	6名	103名
⑤平成27年 8月31日～12月21日	20	月曜日・午前	5名	59名
⑥平成27年 9月25日～12月25日	20	金曜日・午前	6名	107名
⑦平成27年 11月19日～28年3月3日	20	木曜日・午前	5名	86名
⑧平成28年 1月8日～3月25日	17	金曜日・午前	5名	77名
⑨平成28年 1月25日～3月29日	14	月曜日・午前	6名	56名
⑩平成28年 3月10日～3月31日	6	木曜日・午前	6名	23名
合計	177回		54名	773名

2. とじこもり等予防事業

	実施回数	参加人数			ボランティア 数(外数)
		二次予防対象 参加者	一般参加者	合計	
西船場	12	37	117	154	12
江戸堀	11	70	59	129	12
靱	12	20	72	92	12
明治	11	29	42	71	11
広教	12	63	65	128	12
西六	12	39	86	125	24
堀江	12	20	250	270	36
高台	12	47	65	112	12
日吉	12	45	75	120	12
千代崎	12	38	38	76	12
本田	12	39	176	215	36
九条東	9	18	82	100	12
九条南	11	30	257	287	33
九条北	10	49	94	143	10
合 計	160 回	544 名	1478 名	2022 名	246 名

8. 生活福祉資金貸付業務

低所得者、障がい者または高齢者の世帯を対象に、資金の貸付と民生委員による必要な生活支援を行う事により、経済的自立および生活意欲の助長促進ならびに在宅福祉および社会参加の促進を図り、安定した生活を送ってもらう。

資金種類は大分類として、(1)総合支援資金(失業者対象)、(2)福祉資金、(3)教育支援資金、(4)不動産担保型生活資金 の4種類に分かれる。

1. 個別相談

(1)相談件数

○相談状況<貸付申込に関する>

	件数
電話相談	413 件
窓口相談	383 件
申込書配付	48 件

○貸付に対する償還等の対応

	件数
電話対応	78 件
窓口対応	32 件

(2)相談内容

	件数
総合支援資金	430 件
福祉資金	221 件
教育支援資金	249 件
不動産担保型生活資金	11 件

(3)貸付決定者

	件数
総合支援資金	4 件
福祉資金	2 件
教育支援資金	10 件
不動産担保型生活資金	件
合計	16 件

9. 生活困窮者自立相談支援事業 ふらっとほーむ西 事業報告

1. 事業内容

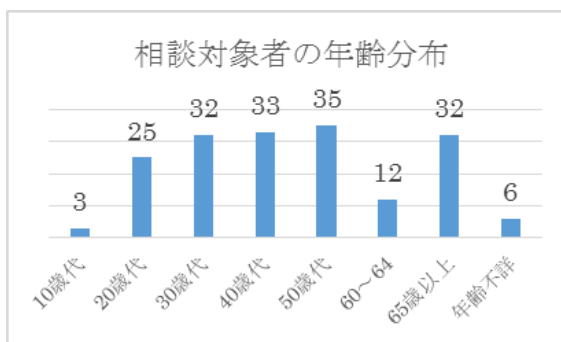
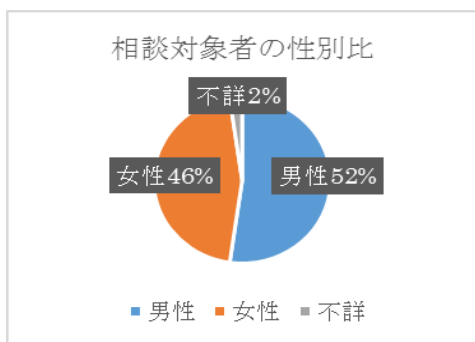
生活困窮者自立相談支援事業とは、平成27年4月1日から施行された生活困窮者自立支援法に基づく事業で、包括的な相談窓口(生活・自立に関する相談など)です。大阪市西区においては、ふらっとほーむ西が、それにあたります。

生活困窮者自立支援制度では、下記のような事業を展開しており、それらを利用するためのプラン策定についても、ふらっとほーむ西で行っています。また、下記以外の事業・支援も実施しております(例えば、就労支援や無料法律相談など)。

- ・住居確保給付金
- ・就労準備支援事業(平成28年4月1日から)
- ・一時生活支援事業(従前のホームレス自立支援事業を活用)
- ・家計相談支援事業(平成28年4月1日から)
- ・子どもの学習支援事業
- ・認定就労訓練事業

2. 平成27年度実績

- ◆新規相談受付人数 178人
- ◆相談者の類型別(性別・年齢別)



- ◆プラン策定件数 12件
- ◆プランの事業内訳(複数該当あり)
住居確保給付金10件、就労支援(総合就職サポート事業)5件、福祉資金貸付5件
生活保護受給者等就労自立促進事業1件

3. 課題と対応

平成27年度については、住居確保給付金(失業している方を対象とした家賃援助)と就労支援というプランが中心でありました。

平成28年度からは、家計相談支援事業や就労準備支援事業など、より幅広いサービス・支援を展開できるよう、経済的困窮のみならず、どのような困りごとに対しても寄り添うことの出来るような支援体制を構築してまいりたいと考えています。

また、窓口へ足を運ばない方については、アウトリーチ(支援が必要な方へ、支援者側から積極的に働きかける、訪問面談など)の活用など、より積極的に実施していくことにより、地域住民の方にとって、より身近な相談支援機関を目指していきたいと考えています。

10. 通所介護事業

		4月	5月	6月	7月	8月	9月
開設日数(日)		21	18	22	22	21	19
介護給付	月間実利用者数(人)	34	36	36	33	32	33
	月間延利用者数(人)	280	252	298	287	258	268
予防給付	月間実利用者数(人)	15	16	15	15	15	14
	月間延利用者数(人)	93	74	98	97	84	70
月間延利用者合計(人)		373	326	396	384	342	338

		10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
開設日数(日)		21	20	19	19	22	24	248
介護給付	月間実利用者数(人)	33	33	33	36	37	38	414
	月間延利用者数(人)	307	278	283	260	305	344	3,420
予防給付	月間実利用者数(人)	14	14	13	9	12	13	165
	月間延利用者数(人)	81	63	59	42	47	65	873
月間延利用者合計(人)		388	341	342	302	352	409	4,293

行事一覧

3月30日～	3月31日	お花見(39名)
8月3日～	8月5日	夏祭り(40名)
7月29日～	8月3日	花乃井中学校新任教員社会体験研修(1名)
10月2日～	10月8日	西区合同展示会見学(43名)
10月12日～	10月13日	堀江中学校職場体験学習(3名)
12月5日～	12月4日	西中学校職場体験学習(2名)
10月28日～	10月29日	花乃井中学校職場体験学習(2名)
6月8日～	10月14日	大阪歯科学院専門学校口腔指導実習(12名)
1月20日～	3月10日	大阪歯科学院専門学校口腔指導実習(24名)
12月10日		西区歯科医師会デイ出張講座(医師3名)(20名)
12月22日～	12月25日	クリスマス会(45名)
誕生会	月1回	
ボランティア	各月1回	①大正琴 ②三味線と民謡 ③歌体操 ④紙芝居と歌 ⑤マジックショー

1.1. 地域包括支援センター事業報告

1. 総合相談支援業務

業務内容	相談件数	実施内容
実態把握	実人員 328 件 (前年度比+40)	本人・家族・近隣等からの相談を受け、サービスに結びついていない高齢者情報を把握する。
総合相談 (延数)	訪問 1,277 件 (前年度比+435) 電話 4,013 件 (前年度比+432) 来所 1,188 件 (前年度比-197) その他 721 件 合計 7,199 件 (前年度比+629) うち認知症 2,076 件 実人員 1,432 件 (前年度比-261) (うち認知症 216 件) 上記外簡易相談 733 件 (前年度比+65)	本人・家族、地域支援者、介護事業者、医療機関、関係団体などから高齢者に関する相談を受けている。 関係機関の紹介など、継続的・専門的な支援を行っている。 地域包括支援センターの窓口での相談だけでなく、地域の会館や集会所や立ち寄り処などに出向いての出張相談に力を入れており、様々な場面で相談活動を行っている。 なお、花乃井中学校地域では、花乃井地域在宅サービスステーションに包括のランチとして総合相談業務を委託し連携して支援を実施している。 ランチの相談件数はこの相談件数とは別に、相談延べ件数が 659 件であった。

相談件数の増加の背景として、地域会館や集会所での出張相談やミニ講座を積極的に行ってきたこと、高齢者便利帳を離れて住む家族が帰省するお盆と年末年始の年 2 回発行したり（計 900 部）、地域包括支援センターニュース（包括レンジャー）を毎月 2,500 部発行し区内 120 カ所の協力機関に設置・掲示・配布し包括支援センターの周知に努めたことが考えられる。

情報提供などは簡易相談として、総合相談とは別に集計しており、1 割増しの 733 件となっている。出張相談や包括レンジャー持参時に支援機関との情報交換により簡易相談件数が増えている。

1 ケースあたりの平均対応回数は 5 回で、支援困難事例になる前に初期の段階で相談につながり、支援ができています。

その一方、司法書士や弁護士や医師など専門家の助言を要する複雑な内容の相談が増えている。

月別相談件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
延べ合計	452	480	514	581	544	541	720	667	605	721	733	641	7,199

相談内容内訳件数

家族・家庭問題	経済・生活問題	介護サービス関係	介護予防サービス	介護予防事業関係	福祉サービス関係	保健・医療サービス	虐待に関すること	成年後見制度の活用	生きがいのづくり	その他	合計
190	1,573	2,362	758	548	346	621	35	184	232	350	7,199

平成 26 年度に比べ、福祉サービス、保健・医療サービス、成年後見制度の活用に関する相談が増えている。

あんしんさぽーと事業や、精神疾患に関わる相談、障がい支援に関する相談も増えている。

関係機関を招集する地域ケア会議や、部署内で支援方針について話し合う機会も増えている。

相談経路

本人	家族	ケアマネ	住民	民生	見守り	町会	ボラ	包括	介護	医療	公的	ランチ	障がい	その他	合計
2,010	1,171	1,070	196	152	495	42	2	434	248	310	806	126	15	122	7,199

高齢者障がい者支援連絡会や高齢者支援担当者部会、医療・介護・保健・地域の交流会など、様々な関係機関と連携する機会を積極的に行ってきた。

これにより、多様な関係機関から相談が入ってきている。

2. 介護予防ケアマネジメント事業

介護予防事業 (二次予防事業)	把握日 27. 4. 1~28. 3. 31 把握数 405 名 事業参加実数 55 名 参加率 13. 6%	要支援・要介護状態となるおそれがある高齢者の生活機能低下の予防を行っている。 通所型介護予防教室として、複合型プログラム（運動器の機能向上、栄養改善、口腔機能向上事業）や単独型運動器の機能向上、閉じこもり等予防を実施している。
--------------------	--	--

大阪市健康福祉局（平成 23 年度当時）より要支援・要介護者を除く 70 歳以上の大阪市民に対し、二次予防事業対象者把握のための基本チェックリストが個別送付されたことにより把握数は増えている。

参加率は大阪市の平均より高い。約 6 割の方が辞退しているが、その理由として「仕事をしており忙しい」「自分で散歩などの健康づくりをしている」「スポーツジムに通っている」などが多い。

また、「チェックリストを記入した時より病状悪化」の方には、介護保険などの利用支援を行っている。

二次予防事業対象者把握のための講演会	9 回 133 名 (65 歳以上の方のみ計上) (うち 3 名が事業に参加)
--------------------	---

3. 権利擁護業務

229 件	虐待に関すること	35
	成年後見制度の活用	184
	消費者被害に関すること	10

上記の個別相談の他、高齢者虐待の早期発見・防止の講演会、様々な権利を守るための制度や関係機関の紹介、消費者被害の相談・支援を、専門相談機関などと連携して実施している。

4. 包括的・継続的ケアマネジメント支援

介護支援専門員からの個別相談	952 件	支援困難ケースの対応など地域の事業所の介護支援専門員に対して後方支援を実施。
----------------	-------	--

居宅介護支援事業者連絡会 (事務局)	14回 (定例月1回) 以下の会を含む 研修会9回 交流会5回	居宅介護支援事業者の資質向上のため連絡会を開催し、必要な情報提供や研修会などを実施。	
		研 修 会	「インシデントプロセス法を活用した事例検討会」「高齢者虐待の理解」「障がいサービス制度について」「ケアプランチェックの視点からケアマネジメントを考える」「消防署による防災」「高齢者宅の火災予防」「成年後見制度」「口腔ケアと訪問歯科診療」「高齢者虐待の予防」
		交 流 会	「訪問看護と交流会」27.5.21「医療と介護の連携」27.8.27 「介護事業者交流会」27.10.20「多職種交流会」27.11.26 「西区介護保険事業者合同懇談会」27.12.11

5. 会議等

地域ケア会議	個別ケース検討 31回 振り返り会議 11回 課題抽出まとめ会議 3回	多岐にわたる継続的支援が必要な困難ケースについて、情報共有や支援方針の検討等、地域支援者やサービス事業者などの総合調整を行う個別ケース検討会議を実施している。 個別支援方法について、以後のケース対応の一助とするため振り返りの地域ケア会議を実施している。 また、スーパーバイザーの助言を得てまとめ会議を開催し、個別ケースの積み重ねから西区の課題を抽出し、高齢者支援計画をたてている。
その他ネットワーク構築のための会議	231回 前年度比+142	地域ネットワーク委員会、見守りコーディネーター連絡会、アクションプラン高齢者部会、立ち寄り処（ノダ大阪10回、千代崎11回、キララ2回、てらかフェ6回）などへの参加。
地域等との関係づくり	851回 前年度比+275	関係機関や地域関係者に対してネットワーク構築の前段階としてなじみの関係づくりのための訪問活動。
高齢者障がい者支援連絡会	6回	高齢者・障がい者支援を必要とする複合的複雑な問題を抱えた事例が増えておりそれぞれの支援者が円滑に連携支援できるよう平成26年9月に連絡会議を立ち上げ、奇数月に開催している。
ランチ連絡会	12回	地域在宅サービスステーションと情報交換や事業実施についての検討を行い連携を図る。
食事サービス運営委員会の開催	12回	心身の障害により食事の調達が困難な高齢者等に対し配食サービスを実施し安否確認等を行っており運営委員会では新規申請者の審査・決定等を行っている。
地域密着型サービス運営推進会議への参加	11回 (2事業所)	介護保険法で開催が義務付けられている事業所の運営推進会議に参加し、サービスの質の向上等に寄与している。
認知症サポーター養成講座	10回	認知症高齢者と家族を地域で支援するための講座。地域住民や学校、金融機関などに向けて実施。
精神疾患の基礎知識講座	1回	認知症以外の精神疾患の事例が増えており支援者のスキルア

		ップを図るため専門医による講座を開催。平成 27 年度も計画中。
区運営協議会への出席	4 回	
包括ミーティング	12 回	包括職員間の情報共有、研修の伝達報告、評価・事業計画のための会議、地域診断のための会議など。
ケースミーティング	12 回	保健福祉センターも参加して総合相談ケースの情報共有。

認知症等高齢者支援地域連携事業 連絡会議 6 回	医師会委託事業に協力。 医師会、歯科医師会、薬剤師会、訪問看護事業者連絡会、居宅介護支援事業所連絡会、地域包括支援センター、保健福祉センター 多職種交流会 (26. 11. 26/101 名) 認知症講演会 (27. 3. 5 土/170 名)
-----------------------------	--

6. 介護家族支援関係事業

事業名	開催回数	内容
高齢者介護家族の会 (あざみの会)	11 回 (第 3 水) ※8 月はお盆休	高齢者を介護する家族間の交流を通して相互の情報交換や専門職からの情報提供を行う。同時に喫茶サロンを開設し、家族のリフレッシュの場を提供している。
家族介護支援事業 (ランチと協同開催)	4 回	高齢者を介護する家族を対象に情報提供・意見交換を行う機会の提供等を通し、介護者の介護負担軽減や心身のリフレッシュを図り、適切な介護知識・技術や各種サービスの利用方法の習得、認知症の理解・普及、当事者組織の育成・支援を行う。
認知症の方を介護している家族のつどい	4 回	認知症の方を在宅で介護している同じ立場の介護家族どうして話し合う場・情報を得る機会を設けるため平成 24 年度から実施。毎回、初めて参加の方がいる。年 1 回はもの忘れクリニックの医師を囲んでの座談会を実施している。

7. 介護予防支援ケアプラン作成件数

要支援 1・2 の認定者に対し、要支援状態の改善や重度化予防のためケアマネジメント支援を行う。

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
総数	689	691	691	687	698	700	695	699	704	693	704	713	8,364
うち包括作成	151	147	148	108	100	93	91	93	92	94	95	95	1,307
うち一部委託	538	544	543	579	598	607	604	606	612	599	609	618	7,057

一部委託契約しており実動している居宅介護支援事業所数 42 か所 (うち他市県 6 か所) 平成 28 年 3 月末現在

8. その他

西区地域包括支援センターニュース (包括レンジャー) 毎月 1 日に 2,500 部発行 区内外約 120 カ所に設置・掲示・配布 西区社会福祉協議会ホームページにも掲載	毎月発行
西区高齢者便利帳 第 13 号 (お盆号)、第 14 号 (年末年始号) 各 450 冊	年 2 回更新
西区地域包括支援センター啓発用クリアファイル (1,000 部)	平成 28 年 3 月

1 2. 地域における要援護者の見守りネットワーク強化事業

市民生活における福祉課題の「複雑化・多様化・深刻化」が進んでおり、支援につながらず孤立化している要援護者に対し、日ごろからの見守り活動や住民間のつながり、社会資源のネットワーク強化を図るため見守り相談室を設置した。また、自らSOSを発信できない要援護者に対して、積極的なアウトリーチにより適切な支援につなげていく。

現在、見守り相談室では以下の取り組みを行っている。

- (1)機能1：災害時に活用できる要援護者名簿にかかる同意確認・名簿整備
- (2)機能2：見守り支援ネットワークによる孤立世帯等への専門的対応
- (3)機能3：認知症高齢者見守りネットワークによる徘徊者保護の強化

1. 機能1「要援護者名簿に係る同意確認・名簿整備」

ア 郵送による同意確認

発送地域	新規対象者	回答数	回答率	同意件数	不同意件数
12 地域	1,027 人	449 件	43.72%	338 件	111 件

イ 訪問による同意確認

地域	対象者	回答数	回答率	同意件数	不同意件数
10 地域	102 人	102 件	100.00%	58 件	44 件

※同意の方については事業説明と提出書類の内容確認を行う。

※不同意の方については、事業説明、現状把握、不同意理由の確認を行う。

2. 機能2「孤立世帯等への専門的対応」

ア 相談件数

合計	訪問	電話	来所	その他
308 件	48 件	195 件	38 件	27 件

イ 相談実人員

相談実人員	男	女	不明
81 人	34 人	47 人	0 人

ウ 対象者属性内訳（単位：人）

要支援・要介護の高齢者	要支援・要介護以外の高齢者	身体障がい者・児	知的障がい者・児	精神障がい者・児	発達障がい者・児	難病	引きこもり	ごみ屋敷	生活困窮者	子育て中の保護者	その他（65歳未満・障がいなし）
48	13	1	2	14	2	0	0	0	0	0	1

エ 相談内訳（単位：人）

経済・生活問題	福祉サービス	保健・医療	介護	子育て	就労	いきがいづくり	虐待	家族・家庭問題	見守り訪問	ごみ屋敷	その他
96	52	53	45	0	18	12	0	20	11	1	25

オ 関係機関・地域団体等との連携

	合計	地域団体等	民生委員協議会	区社会福祉協議会	社会福祉施設・介護サービス事業者等	学校・機関	行政機関	専門相談機関	地域包括支援センター	本人	家族	医療機関・病院	地域住民	アウトリーチによるもの	その他
相談元	281	28	0	0	27	0	29	39	36	19	22	0	4	4	73
連携先（支援連携）	204	12	0	0	40	0	42	24	46	0	0	3	1	0	34
つなぎ先（結果）	45	7	0	0	14	0	13	7	3	0	0	1	0	0	0

3. 機能3「認知症高齢者等の行方不明時の早期発見」

認知症高齢者等が行方不明になった場合に、警察捜索の補完的なものとして、早期発見・保護につながる仕組みとして事業展開を行っている。徘徊事案が起こった場合の事業協力者の開拓を行い、79件の登録協力を得られた。

4. 地域における要援護者の見守りネットワーク強化事業にかかる講演会等の開催

要援護者情報を活用し、地域におけるきめ細やかな見守りネットワークの実現を目指すことから、14地域にむけ事業説明会を行い、事業展開を行っている。また、6月12日には西区役所で「西区における地域活動にかかる講演会」を、12月7日には西区民センターにて「西区あんしん見守りシンポジウム」を開催し、本事業における見守り活動についての理解を深める内容となった。

地域への説明会回数	説明団体	同意書送付 地域数	地域提供リスト 提供地域数
63回(のべ回数)	地域社会福祉協議会・連合振興町会・ 地域活動協議会・民生委員協議会・女 性会・ネットワーク委員会	12地域	10地域

講演会名	開催日程 開催場所	来場者数 対象者
西区における地域活動にかかる講演会	6月12日 西区役所	29名 地域社会福祉協議会会長、連合 町会長地域活動協議会会長、見 守りコーディネーター等
西区あんしん見守りシンポジウム	12月7日 西区民センター	約200名 西区住民

5. 認知症サポーター養成講座

見守り支援ネットワークカー等が「キャラバン・メイト養成講座」受講し、地域住民や一般職域団体の従業員に対して、認知症の正しい知識を広め、認知症の人や家族を支援する人（認知症サポーター）を養成する講座を開催する。（平成19年10月から実施）

【西区での認知症サポーター養成講座開催数・養成人数】

年度	19	20	21	22	23	24	25	26	27	計
開催日数	4	16	12	3	7	14	6	11	13	86
養成人数	108	617	571	103	308	603	139	193	370	3,012

13. 西区地域福祉見守り活動応援事業について

西区地域福祉見守り活動応援事業の実施について

西区地域福祉見守り応援事業を平成 25 年度もから西区社会福祉協議会が受託。各地域会館を拠点とし、各地域 1 名見守りコーディネーターを配置。地域の高齢者・障がい者で支援の必要な方の見守り活動を行う。また、地域の高齢者・障がい者の孤立を防ぎ地域のつながりをつくっていくため、これまでコミュニティにかかわりを持っていなかった人への見守り活動や各関係機関やライフライン事業等とのつなぎ役として活動を展開している。平成 27 年度は、大阪市全域で実施されている『要援護者見守りネットワーク強化事業』との連携を行い、地域内での見守り組織の構築等にも一躍を担っている。

見守りコーディネーターの活動状況

- ・毎月第 2 金曜日に見守りコーディネーター連絡会を開催し、活動報告や情報交換を実施。
- ・各地域にて訪問や電話などにて高齢者・障がい者の見守り活動を行う。また、必要に応じて、各関係機関と連携し必要なサービスなどへつなぐ。
- ・高齢者、障がい者の支援に必要なスキルアップや各関係機関との連携強化を図るため、介護保険関係の研修会、多職種交流会、精神保健福祉関係の研修会などを開催。

にしー救急カードについて(旧:救急カプセル)

西消防署の協力を得『にしー救急カード』を高齢者世帯に配布する準備をすすめている。まずは、80 歳以上ひとり暮らし高齢者世帯を対象に配布する予定。

※西区では、高齢者世帯等に救急カプセルを配布している経過がある。現在も救急カプセルは各高齢者の自宅の冷蔵庫の中に保管されているはずであるが、情報更新や現物確認もなかなかできていない状況である。『救急隊員が救助にあたった際、勝手に冷蔵庫を開け救急カプセル探し出すことは難しい』『救急対応中に冷蔵庫の中を確認する時間がない』等の意見もあり、検討の結果、冷蔵庫の前に貼付できる『にしー救急カード』の発行に至る。カードへの記載内容は必要最低限の情報のみ(氏名、生年月日、かかりつけ医、記入日)としている。

平成 27 年 12 月 7 日 西区民センターにて西区あんしん見守りシンポジウムを開催。

パネリストに 3 名の見守りコーディネーターが登壇。各地域での見守り活動状況などの報告を行った。※別添のふれあい西区 56 号、大阪の社会福祉、大阪市社会福祉協議会 HP 参照。

・江戸堀地域では、地域独自で実施した調査票をもとに独居高齢者等の情報を地域で見守り活動者(地域役員)と共有し、旧地域ネットワーク委員会で培った見守り活動を活用し、勢力的に見守り活動や支援を行なっている。

・高台地域では、町会や民生委員で高台地域見守りネットワーク会を立ち上げ、高齢者の見守り活動を展開している。毎月、情報共有や研修会等を開催しスキルアップも図っている。

・九条南地域では、ネットワーク委員会を継続して開催しており、町会や民生委員で子どもから高齢者の見守り活動を実施している。2ヶ月に1回定例会を開催し、区社協や各関係機関とも情報共有等も行っている。

西区内各地域において、各地域関係団体等と連携し見守り活動を展開している。地域に精通した方が担っていることで、要援護者の早期発見や早期対応につながっている。また、地域包括支援センターで開催するケア会議等にも出席し、情報共有、支援方法等を共に検討している。

平成 27 年度 西区見守りコーディネーター活動報告

平成 27 年 4 月～平成 28 年 3 月の集計

活動時間:1ヶ月 50 時間(約週 3 日)

(単位:件)

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
電話	146	135	113	173	167	140	148	143	182	160	137	165	1809
来所	778	806	1213	1039	602	844	869	916	832	742	961	1012	10614
訪問	262	210	340	344	389	226	428	296	372	334	335	298	3834
関係機 関との 調整	91	51	130	138	149	136	147	176	189	153	204	163	1727
合計	1277	1202	1796	1694	1307	1346	1592	1531	1575	1389	1637	1638	17984

1 4. 大阪府共同募金会西地区募金会

主な業務

- ・ 10月～12月に実施される共同募金運動による募金の受付。
各地域や学校・園、各種団体などからの募金を受付及び会計事務。
- ・ 平成27年度共同募金運動各種資材の発注と配布。
- ・ 歳末たすけあい運動に関する業務。
- ・ 大阪府共同募金会への実績報告の作成および提出。
- ・ 共同募金配分金業務
西区社会福祉協議会への配分金について、各種団体や社協事業の配分申請、結果、精算書類の提出。など
- ・ 理事会の開催
- ・ 小学校での福祉教育にて、共同募金のしくみや寄付金について説明

1 5. 日本赤十字社大阪支部西地区事務局

主な業務

- ・ 各奉仕団からの社資募集の受付及び会計事務。
- ・ その他団体からの社資募集の受付及び会計事務。
- ・ 各奉仕団あて、還元金等の事務。
- ・ 各奉仕団あて、災害援助物品等の支援物品の調査及び配付。など

16. 老人福祉センター事業

利用状況		利用者区分		個人利用		団体利用		計
		人員	性別	件数	人員	件数	人員	
開館日数	290日							
延利用人員	30,538人	老人	男	9,221(127)	597	50	136	9,960 (127)
		その他	女	6				
更新・新規登録人員	594人	老人	男	19,639(467)	781	50	147	20,578 (467)
		その他	女	11				
1日平均利用人員	105.3人	計	累計	28,860 (594)	50	50	1,678	30,538 (594)

その他は、60歳未満の来館者

個人利用内訳 ()内は更新・新規の利用者数

年齢区分	60～69歳		70～79歳		80歳以上		その他		累計					
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女				
1,633	2,692	4,325	5,187	10,972	16,159	2,395	5,964	8,359	6	11	17	9,221	19,639	28,860
(24)	(101)	(125)	(64)	(247)	(311)	(39)	(119)	(158)				(127)	(467)	(594)

老人福祉センター 事業報告

事業名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考
いきいき百歳体操	毎週月・木 22(水)	毎週月・木 14(木)	毎週月・木 30(火)	毎週月・木 29(水)	毎週月・木 26(水)	毎週月・木 29(木)	毎週月・木 15(木)	毎週月・木 19(木)	毎週月・木 17(水)	毎週月・木 21(木)	毎週月・木 24(木)	毎週月・木 19(木)	初めてのの方は、開始日前に説明会と体力測定を実施。 月替わりのイベントとコーヒーサロン 奇数月に開催 6館合同歩こう会 10月は文化祭での開催
はっぴーサロン		27(水)		22(水)		24(水)		25(水)		27(水)		23(水)	
お誕生会												3(木)	
歩こう会							27(水)						
お茶席会	16(木)												
ゆつたリエアロ	14(火)	12(火)	9(火)	14(木)	11(火)	8(火)	13(火)	11(火)	8(木)	12(火)	9(火)	29(火)	「健康づくり講座」
楽しいリミック	9(木)	21(木)	18(木)	30(木)	20(木)	10(木)	8(木)	12(木)	10(木)	14(木)	18(木)	17(木)	「健康づくり講座」
ボールとチューブでストレッチ	3(木)	7(木)	4(木)	2(木)	6(木)	4(木)	1(木)	5(木)	3(木)	7(木)	4(木)	5(木)	「健康づくり講座」
太極柔力球	23(木)			23(火)	24(木)	24(木)	22(木)	26(木)	24(木)	28(木)	25(木)	24(木)	「健康づくり講座」
介護予防講座													新規「健康づくり講座」
リラックス気功								18(木)・31(月)			15(月)	8(火)	新規「健康づくり講座」
ピアノで歌おう♪								7(土)				5(土)	
らくてん西寄席				25(土)						30(土)			落語愛好家の寄席
ニューススポーツ大会	輪投げ大会 30(木)	シヤッフルゴルフ大会 20(水)	ピンボウリング大会 24(水)	室内カーリング大会 31(金)			シヤッフルボード大会 7(水)	室内カーリング大会 5(水)		シヤッフルゴルフ大会 8(金)			生かがい・仲間づくりのための室内ゲーム大会
講師・世話人会						2(金)						4(金)	事業、要望事項の確認など
世代間交流・合同事業	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考
九条幼稚園・中央図書館									4(木)	14(木)			世代間交流会(わらべうたと昔話)
他区センターとの交流						17(木)						10(木)	・福島区との親睦囲碁将棋大会 ・6館合同ボーリング大会
西区・区社協事業								1・19(日)					西区民まつり、そよかぜまつり
森ノ宮医療学園共催				29(水)									
行岡医学技術専門学校看護学生との交流				21～24	3～6	28～1		10～13					各クール4日間、4～6名の実習生
西区老人クラブ連合会老人福祉センター共催						24(木)	15(木)		18(木)	29(金)			西区高齢者の生かがいと健康づくり推進事業として実施
西区老人クラブ連合会 西区子ども・子育てプラザ 老人福祉センター共催			スリーアイズ大会 13(土)		「戦争と平和・命について考えよう」 6(木)								小学生、乳幼児と保護者、高齢者の3世代交流事業として実施

17. 子ども・子育てプラザ事業報告

1. 子育て活動支援事業

子どもたちと乳幼児のふれあい、地域の子育て仲間との交流の場所として講座やイベントの開催など、子育て層を応援するとともに、さまざまな子育て情報を提供しています。

- ・子育てに関するさまざまな相談や情報提供
- ・子育て活動を行うグループに対する活動への助言や活動場所の提供
- ・子育て支援講座や親子イベントの開催
- ・自由な遊び場の提供やクラブ活動などの実施(児童健全育成事業)
- ・子どもたち、乳幼児、高齢者とのふれあい交流事業(世代間交流事業)

2. ファミリー・サポート・センター事業

子どもの預かり・幼稚園や保育所などの送迎など、臨時的・突発的な保育ニーズに応えるために、子育ての援助を行いたい人(提供会員)と援助を受けたい人(依頼会員)とを組織化し、会員同士による子育ての相互援助活動を実施するための調整業務等を行っています。

3. 地域子育て支援拠点事業(ひろば型)

乳幼児期の親子が気軽に集い、打ち解けた雰囲気の中で語り合い、交流を図り、子育て相談等を行う場を、身近な地域に設置することにより子育てと仕事の両立の支援ととどまらず、地域の実情に応じたきめ細やかな子育て支援サービスを提供しています。

- ・子育て親子の交流の場の提供と交流の促進
- ・子育てに関する相談及び援助の実施
- ・ブックスタートの実施(絵本の配付と図書館司書による絵本の解説等)

4. 利用者数

(1) 子育て活動支援事業

利用者数①	24,707人
-------	---------

※一般利用利用者数は 5,599人含まず。(市内在住・在勤者による子育てグループ・サークル等の利用者数)

(2) ファミリー・サポート・センター事業

提供会員	47人	援助活動件数
依頼会員	131人	
両方会員	21人	
		744件

(3) 地域子育て支援拠点事業(ひろば型)

利用者数②	16,444人
-------	---------

利用者数(①+②) 合計	41,151人
--------------	---------

※平成27年11月21日、22日大阪府・市長選挙における投票所として施設使用のため事業中止。

※平成27年5月5日(火)は、事業実施要綱により開館。